

第109回

みちのくに  
生きる仲間

佐藤 康祐(54)さん

けせん



佐藤 康祐さんとお孫さんの陽菜(ひな)ちゃんと陽成(ようせい)君

私は大船渡市大船渡町に長男として生まれ、大船渡農業高校を卒業後、大工として働きました。21歳の時結婚。息子と娘に恵まれました。

携帯電話など使用頻度の多いものを良い状態にしておく事です。車については外装や内装、エンジン回りを自分で出来る範囲でメンテナンスをしています。通勤・レジャーなどで普段から使

用していますので、異常が起きれば故障や万が一の事故にも繋がりますし、車も使用することが多く、使用中はかなりの熱を発します。この熱は故障の原因にもなり

良くないですので、内部・外部にファンを付けて冷やしたり、カバーを外して吸い込んだホコリを取っています。ホコリは電化製品にとって大敵。トとして火災や大事なデータなどが無くなったりしたら、一大事です。

常にキレイに  
次は家をメンテナンス

またパソコンでデータバックアップ。出来る範囲に思いますが、現在息子夫婦も同居しているの、次は家も色々とメンテナンスしていこうと思っています。

今の時代に合わせるために色々とパーツを組み直しました。元々いじったりするのは嫌いではないです。ただしコストと手間がかかります。携帯電話についても同じです。現場で汚れた手で使うので、ホコリや汚れがついてしまったり、たまに落としたりしてしまします。便利で毎日使う為、常にキレイにしておくたいと思うので、手を抜かずに磨いています。

年代別在籍組合員数

2018年12月末時点の岩手県連に在籍する組合員数と、平均年齢の調査結果がまとまりましたので、下記に記載します。結果は組合ごとにまとめております。

2018年12月末日の在籍組合員数(本部調査報告 岩手県連)

組合名	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	人数
八幡平	0	11	25	29	48	78	8	199
盛岡	3	165	483	605	520	751	236	2,763
花巻	1	10	48	50	48	80	26	263
北上	4	34	85	118	67	147	28	483
西和賀	0	2	8	7	7	32	9	65
金ヶ崎	0	2	7	10	7	12	9	47
水沢	0	26	36	56	46	79	21	264
前沢	0	3	7	3	9	19	2	43
江刺	0	18	32	23	19	69	24	185
平泉	0	0	4	3	7	15	3	32
一関	0	0	6	13	16	34	12	81
釜石	0	2	15	45	51	110	41	264
大槌	0	6	5	12	24	33	16	96
宮古	0	17	40	42	50	96	24	269
遠野	2	13	35	26	26	50	12	164
けせん	0	0	0	1	2	3	1	7
合計	10	309	836	1,043	947	1,608	472	5,225
組合名	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	平均年齢
	0.19%	5.91%	16.00%	19.96%	18.12%	30.78%	9.03%	54.4

特別教育について  
フルハーネス型安全帯の使用作業に伴う

平成31年2月1日から労働安全衛生規則の一部改正が施行されました。「高さが2メートル以上の箇所であって作業床を設けることが困難なところにおいて、墜落制止器具のうちフルハーネス型を用いて行う作業に係る業務(ロープ高所作業に係る業務を除く)」が特別教育の対象となります。また「安全帯」という名称が、法令上は「墜落制止器具」と変更になりました。ただし、現場などで「安全帯」の呼び名を使用することに問題はありませぬ。

法的には、当該業務に就く前日までに特別教育を修了している必要があります。該当する方は、建設業労働災害防止協会(建災防)岩手県支部にお問い合わせ下さい。なお組合によっては、独自で特別教育を開催する場合がありますので、所属する組合にご確認をお願いします。

◎建設業労働災害防止協会(建災防)岩手県支部  
TEL 019-623-4411  
インターネットからは「建災防岩手県支部」と検索して下さい。

編集後記

☆「風が吹けば桶屋が儲かる」強い風が吹くと目にゴミが入る。それで目を患う者が増える。生活のため三味線弾きが増える。その三味線の皮を張るために猫がいなくなる。猫がいなくなれば鼠が増える。鼠が桶をかじって桶に穴が空く。その桶の穴をなおす桶屋が儲かる。

☆ある物事が起きる事によって、予想してない事に影響をきたしてしまうという例え。全国の組合では年2回、国保組合の国からの補助金を確保する為にハガキ要請行動を行っている。

☆ハガキを書かなくなったら国へ思いが届かなくなる。思いが届かなくなると補助金がなくなる。補助金がなくなると毎月の納める保険料は倍になる。毎月の保険料が高いと加入者は減って脱退者が増える。加入者が減ると国保組合もそれを運営している組合も傾いてくる。組合が傾くと労災や共済など様々な事ができなくなる。

☆ハガキ要請行動は中建国保に加入していない組合員の方にとって大事な運動である。

【教宣部 副部長 鈴木 博三】